

## 豊かな心で感じ、主体的に学びを創る児童の育成

北海道旭川市立豊岡小学校 教諭 十河 史

### 小学校6年 道徳 オン・マイ・ウェイ！

#### 番組の特徴

この番組は、いろいろな困難に立ち向かう挑戦者たちが人生の途中で何を考え、どう行動したのかを追ったドキュメンタリー番組である。番組を視聴することで、子どもたちは、自分の生き方について見つめ直すことができる。

#### 研究の概要

児童は、自分の弱さは知っていても、どのように立ち向かっていくのかをなかなかイメージできない。番組を活用することで、主人公がどのように困難に立ち向かい、どのように行動したのかを多様な視点でとらえ、全体で交流することで主体的に考えることができると考えた。その結果、主人公の行動のよさを多様な視点で考えることができ、そのよさを参考にしながら、これからの自分はどうしたらよいかを意欲的に考えることにつながった。

#### 授業デザイン（1 単位授業時間）

主題名：弱さに打ち勝つには？ 1 - (2)

ねらい：目標に向かって、希望と勇気をもってくじけないで努力しようとする気持ちをもつ

導入

『自分の弱さ』について振り返る。  
事前アンケートから自分たちが思っている弱さについて確認する。

課題把握

学習課題「弱さに打ち勝つには？」

番組視聴

第 1 回 弱さに打ち勝つには？

自力解決

『主人公は弱い人だろうか？』の発問をもとに、弱さに打ち勝つための主人公の行動を多様な視点で考える。

話し合い

主人公の行動の流れを板書しながらまとめる  
大切なキーワードを確認する。

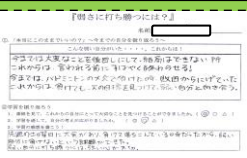


まとめ

『目標を立てて、自分を変えて、あきらめずに努力し続けよう！』

自力解決

弱い自分に打ち勝つためにこれからどうするかを考える。



#### 番組や関連動画クリップの活用意図

##### 客観的に自分を見つめ直すために！

ワークシートで主人公の行動を確認し、今までの自分を客観的に見つめ直すことで、これからの自分はどうあるべきかを主体的に考えることができる。

##### 多様な価値観から生まれる行動に気づく！

困難に立ち向かうために自分は何を大切にすべきか、番組を通して考えることができる。

目標、希望、勇気、不屈などキーワードとなる行動が分かりやすく、その中から「自分は・・・と交流することで広がりをもつことができる。」

#### 授業デザインにかかわる教師の工夫

##### 事前アンケートの活用

- 事前アンケートから集計した子どもたちの『弱さ』について提示することで学習課題への必要感をもたせる。

##### 構造的板書の工夫

- 番組から見つけた主人公の行動を構造的に板書することで、困難に立ち向かうためにいろいろな行動が繋がっていることをおさえる。

##### 課題解決のための場の設定と時間の保障

- 番組視聴後に課題解決に向けて、主人公がどのような行動をとったかを考える時間を設定する。
- 授業の終末に、これからの自分について考える時間を設定する。

⇒ まとめの後に自力解決の場を設定し、ワークシートに書かせることで、思考の深まりを見取る。

#### 生き生きと学ぶ子どもの姿

##### 子どもの自己評価から（ワークシートの振り返りから）

- 努力もしないであきらめているので、これからは、努力をしてからあきらめるかを考える。
- 失敗してもあきらめないのが「強い人間」と言い聞かせていく。

##### 評価シートから（実践前後で有意差が見られた項目は以下の通りである）

- じっくりと考えて、自分の考えを深めることができた。
- 授業に集中して取り組むことができた。

##### 同僚の評価

- 主人公の行動とこれからの自分の行動を比較しながら見つめ直すことができていた。
- 番組視聴からすぐに子どもたちは自分だったらと考えられる。

#### 実践を終えて〈行動宣言〉

番組を視聴することで、子どもたちは主人公の行動を視覚的、客観的にとらえることができる。そのため視聴後に『自分だったら・・・』と自力解決の時間を多く確保でき、深く考えることができた。これからの道徳の時間は、授業後の道徳的実践をふまえて考えていかなければならない。番組を活用することが子どもたちの学習後の『価値の一般化』の定着になるようにさらに実践を深めていきたい。